

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス芳泉 大治		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～ 令和 6 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 11 月 30 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が能力を発揮して生きていけるように、個性の異なる児童たちがお互いを認め合いながら育つという関係性を育んでいけるよう支援しております	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に合わせた対応に取り組んでいます ・休日や長期休暇に、公共の機関や公共の施設に行くために、子ども達が自ら計画を立て、準備し、実行していけるよう促しています 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労に向けた取り組みや、社会で生きていく力を身につけるための支援を充実させていきたいと考えています ・ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けた準備を行ってまいります
2	ご家族が安心して子育てができる環境づくりを支援します。保護者のお仕事の都合で、営業時間外の送迎のご要望にも柔軟にお応えしております	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳、メール、電話やLINE、面談での相談対応 ・家庭環境に応じた対応 ・臨床心理士による相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の必要に応じて、学校、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所等とサービス担当者会議や日々の連絡調整を強化していきたいです ・秋祭りや茶話会以外にも、定期的に保護者同志が交流を持てる機会を設けていきたいです
3	毎週水曜日に、理学療法士による機能訓練を、保護者の要望に沿って実施しています	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士による専門的個別支援として、日常生活の中の姿勢保持や安定、運動の獲得や筋力持続強化、クールダウンなどを取り入れながら、落ち着いて生活できるようなアドバイスをいただいています 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や体育館で、粗大運動の機能を高めるための活動を行ってまいります ・制作や感覚遊びを通じて、微細運動の機能を高めるための活動も更に充実させていきたいです

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度は、他害のある児童の居場所作りに取り組んだが定着に至っていません	全スタッフに対する意識の落とし込みが十分でないことが要因として考えられます	目的の共有と支援の統一ができるようになるまで、日々PDCAサイクルを回していく必要があると考えています
2	月1回臨床心理士の保護者相談会を実施し、希望者にはペアレントトレーニングを行っているものの、一部に過ぎない現状がある。保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行うことが求められると感じている	ペアレントトレーニングに関する知識や技術習得の機会が事業所として得られていないことが要因として考えられます	来年度はペアレントトレーニングの研修年間計画を立て、事業所として取り組んでいきたいです
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図ることができていません	地域柄ご近所付き合いがなく、お声掛けをするのが難しい状況です	夏祭りやクリスマス会などの季節の行事の案内をお渡しし、施設内の様子を知っていただく機会を設けていきたいです